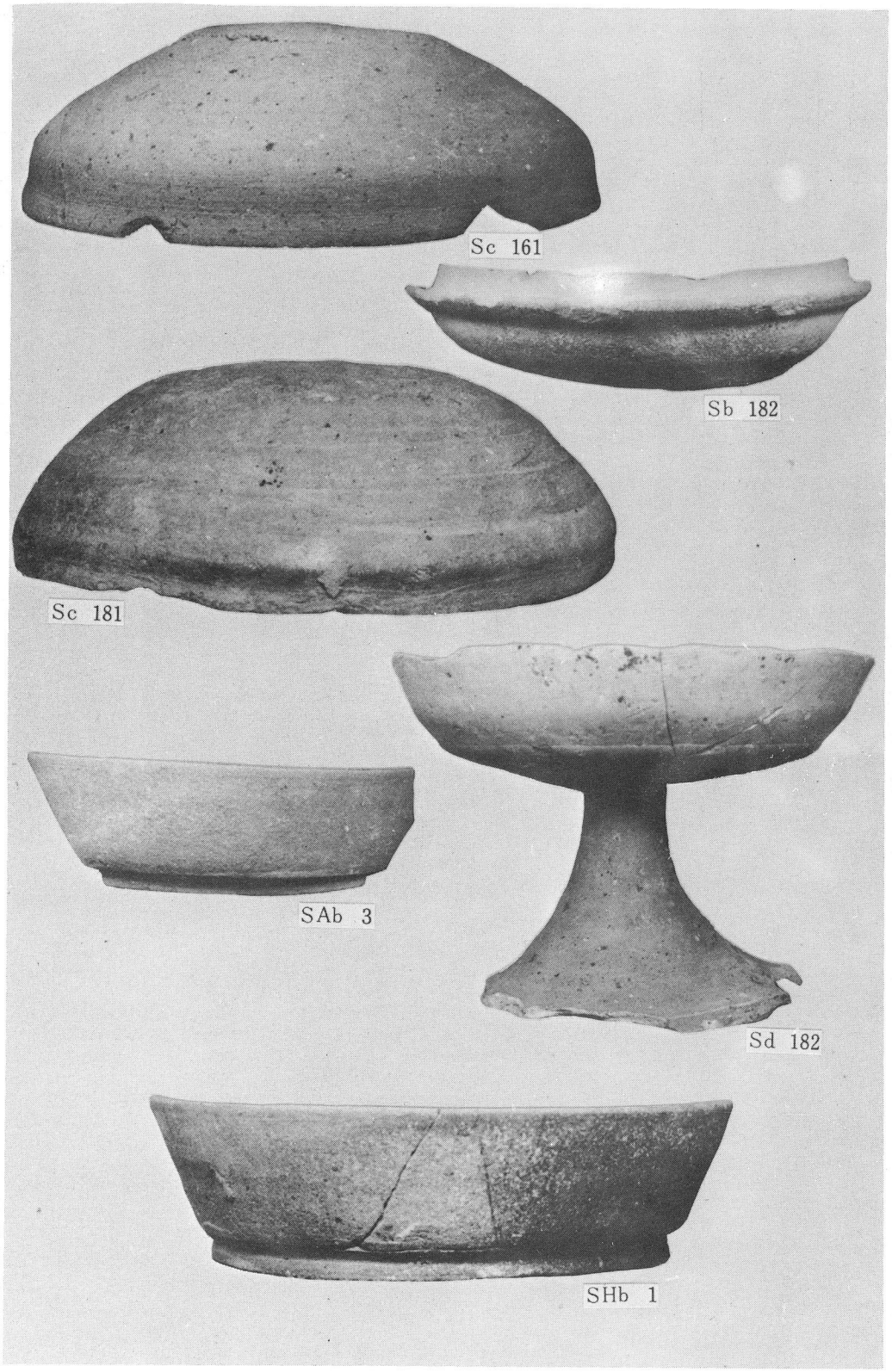
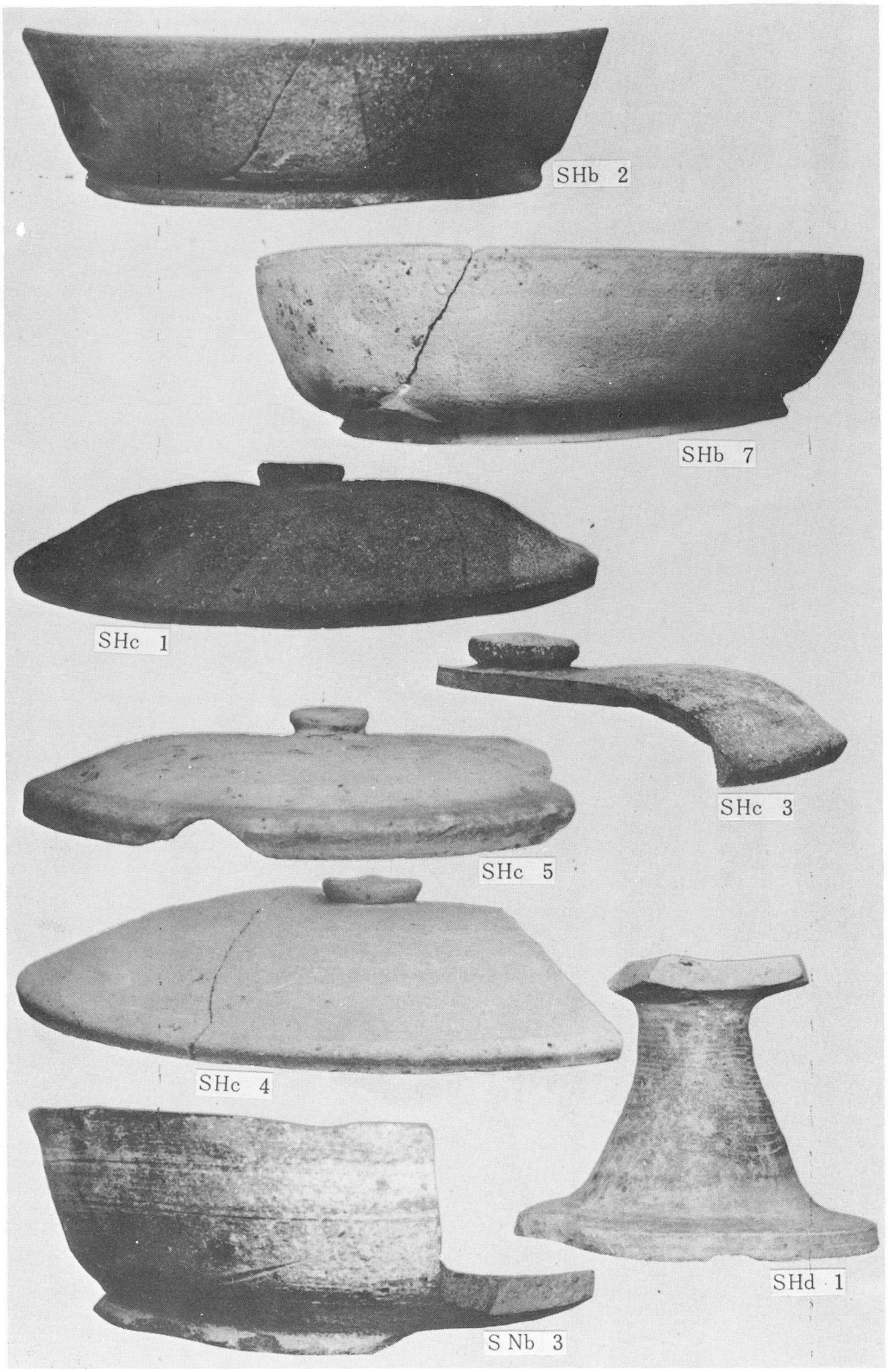
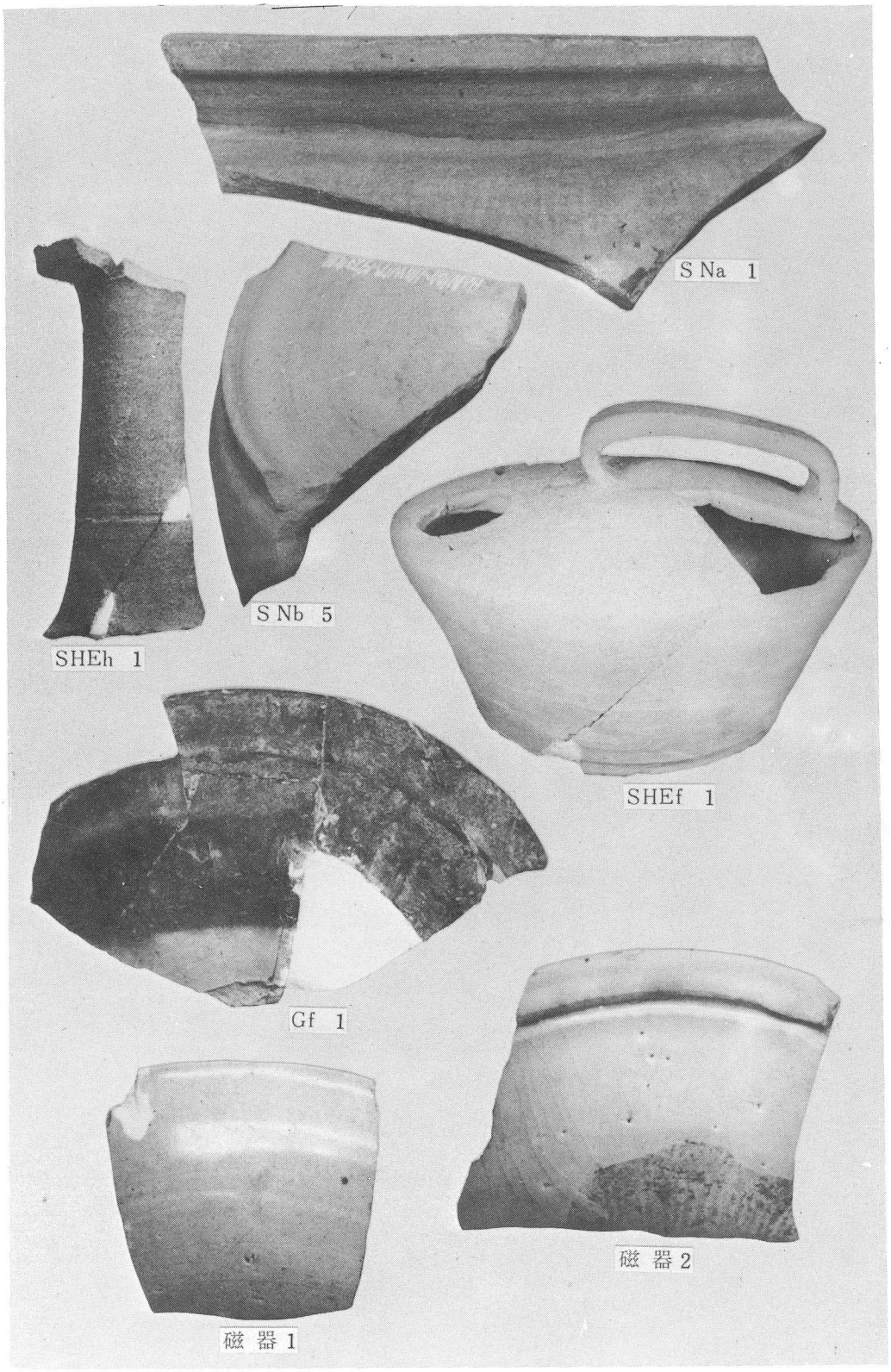
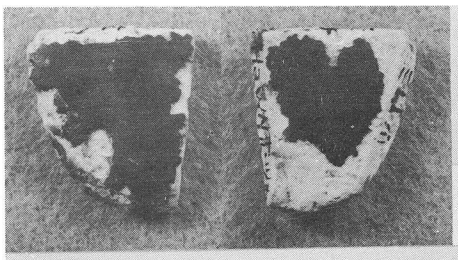
図版第50，須恵器



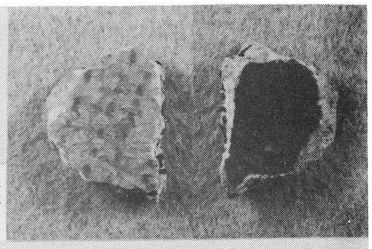

SHb 2
SHb 7
SHc 1
SHc 3
SHc 5
SHc 4
SHd 1
S Nb 3

図版第52，須恵器・磁器

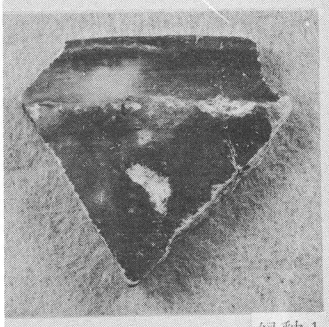




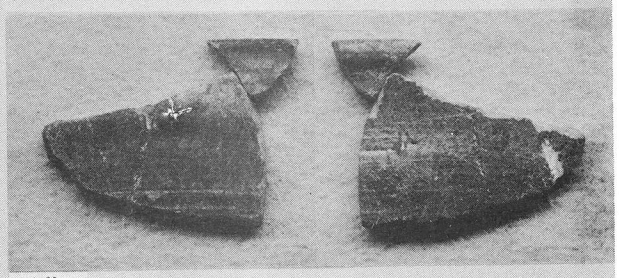
三彩1



三彩2

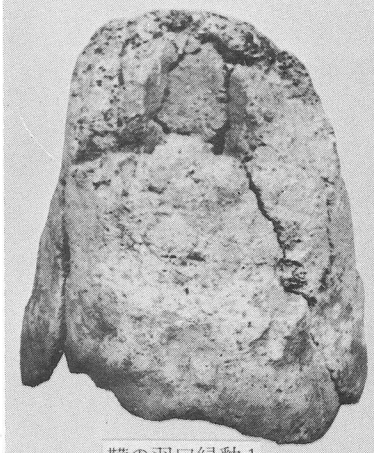


緑釉1

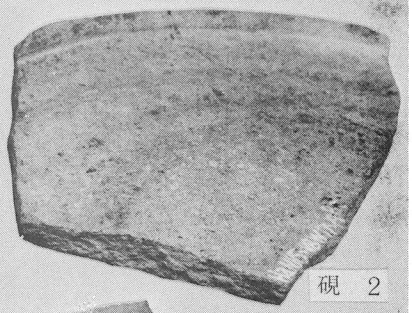


緑釉2

鉄釘

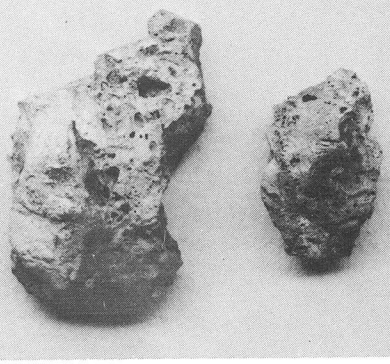


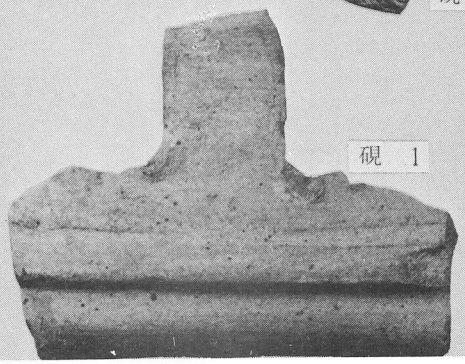
鞴の羽口緑釉1



硯 2

鉄滓





硯 1

あ　と　が　き

このたびの調査は、県下最大の塔心礎をのこす幡多廃寺跡地にじわじわと住宅化の波が迫ってくる中での発掘でした。

私たちは遺物が見つかり、遺跡が検出される度にこの跡地の将来についてふかく思いをいたし、文化財保護についての任務の重さをかみしめたことでした。

発掘調査は幸にも、国・県ならびに調査団の先生方のご指導、赤田地区の地権者をはじめ関係の方々、また直接作業に力をかしていただいた方々のご協力によりきわめてスムーズに終了できました。地元関係者と協調ムードの中で進めた調査の楽しかったことを回想しながら、ここに厚くお礼申し上げます。

調査の結果はこの報告書におさめましたが、これが廃寺跡の将来のために、また地方史研究の一助になればと切に願うものです。

最後に今回の調査ならびに、このまとめに精力的なとりくみをされた市教委文化課の関係職員の労を多とます。

昭和50年 9月30日

岡山市教育委員会文化課長

植　田　心　壮

幡多廃寺発掘調査報告

昭和50年9月30日　発行

編集　岡山市教育委員会文化課
発行　岡山市教育委員会
岡山市大供1丁目1－1
印刷　伸　輝　印　刷